

## 電波時計 取扱説明書 (デジタル電子音目覚まし時計)

### ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して日時を自動修正。
- 大音量のアラーム音。
- 2つのアラーム時刻を設定できます。

お買い上げいただきありがとうございます。  
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みの  
うえ、正しくお使いください。  
取扱説明書は、お読みになった後もお手元に保管  
して、必要に応じてご覧ください。

製造発売元 **リズム時計工業株式会社**  
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

(Y1304)

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店が  
いたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、  
ご利用ください。

- 修理部品の保有について  
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造  
打ち切り後、3年間で標準に保有しています。ただし、  
外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使  
用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- 修理可能期間について  
無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有  
期間中は、原則として有償での修理が可能です。た  
だし、修理内容や送料により、修理代金が高額にな  
る場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合  
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられ  
ない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証  
期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.  
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 (フリーダイヤル)  
**お客様相談室 0120-557-005**  
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）  
お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ149」を  
お伝えください。

## おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと	アラーム機能	設定した時刻にアラームを鳴らす
液晶表示可読温度	0～40℃	アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
時間精度	電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒（5～35℃のときクォーツ精度）	アラーム音	3種類の電子音（段階的に音量アップ）
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1.5V 3個	音量調節	ロータリー式 最大約105dB（前面10cm）
電池寿命	約1年 アラームを音量大で30秒鳴らし、 照明を5秒点灯した場合（1日当たり）	スヌーズ機能	あり
電池交換時期	電池マーク点灯	オートストップ機能	あり
お知らせ機能		カレンダー	2013～2099年対応
標準電波機能	標準電波受信により自動時刻修正	時刻表示形式	12時間/24時間 選択式
受信局	福島局 / 九州局自動選択	照明	液晶表示部をLEDで照明
受信ON/OFF	あり	温度	
受信回数	1日8回	表示範囲	-9.9～50℃
受信開始時刻	1時から4時、13時から16時の時間帯の16分40秒	温度の精度	±2℃（表示範囲において）
		湿度	
		表示範囲	20～95%RH
		湿度の精度	±10%RH（表示範囲において）
		温湿度測定間隔	1分間隔

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。

40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 電池 3個 保証書 1枚 取扱説明書 本書

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。  
当社はCITIZENブランドライセンス商品の掛時計、置き時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。

## 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

### 図記号の説明

- ⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
- ①は、指示する行為を必ずすることを示しています。

## 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ **誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**  
必ず守る  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

- ❗ **電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**  
禁止
- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない。

❗ **電池から漏れた液に触れない**

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 漏れた液に直接触れないでください。電池をはずして、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

## 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

❗ **電池の⊕⊖を正しく入れる**  
必ず守る  
逆に入れると液漏れや発熱の原因になり、故障やけがの原因になります。

❗ **強い振動や衝撃を与えない**  
禁止  
故障や破損の原因になります。

❗ **濡れた手で触らない**  
故障の原因になります。

❗ **浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**  
さびの発生や故障の原因になります。

❗ **分解したり改造しない**  
分解禁止  
けがや故障の原因になります。

❗ **下記のような場所では使わない**  
禁止  
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

## 電池のご注意（電池の正しい使いかた）

### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手の届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。

### 電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

### 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていただきますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

## 電波時計について

### 電波時計とは

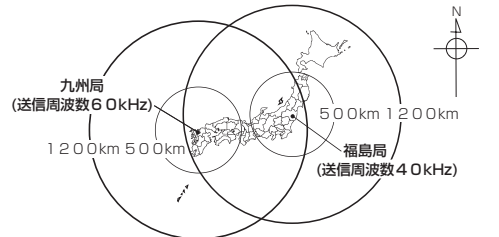
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼/夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。  
(http://jij.nict.go.jp)



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

### 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご利用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

## お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

## 電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

## 静電気の影響について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

## 電池交換時期のお知らせ機能……… 電池マーク 表示



電池の交換が必要になると、電池マークが表示されます。このマークが表示されたら、すべての電池を新しい電池に交換してください。電池の確認は1時間に1回行います。

## 注意 電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

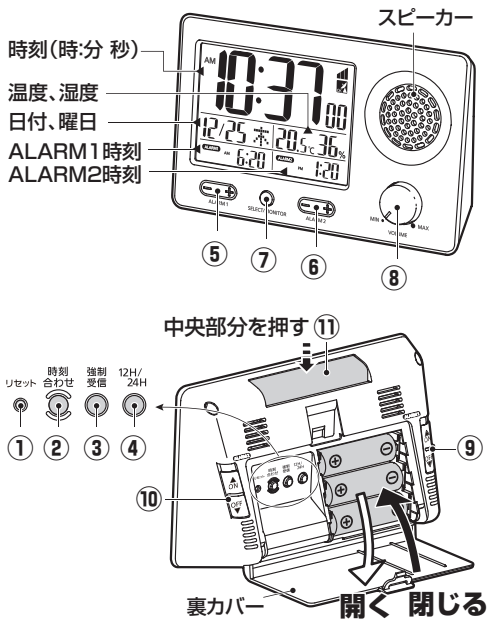
❗ **電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。**  
必ず守る **電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。**

- 液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕⊖を指定と逆向きに入れない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。



## 各部の名称と役割

※図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

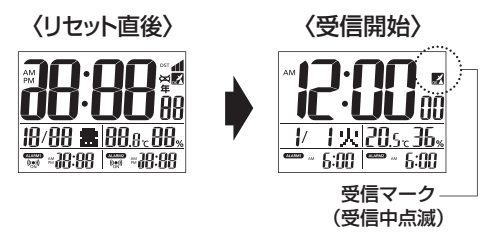


- ①リセット —— 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。押すと2013年1月1日午前12:00アラーム時刻午前6:00になります。
  - ②時刻合わせ —— 手で日時を合わせるときに使用。
  - ③強制受信 —— すぐに電波の受信を開始させたいときに押す。
  - ④12H/24H (アラーム1/アラーム2) —— 時刻表示形式を切り替えるときに押す。
  - ⑤ALARM1+/+ (アラーム1) —— アラーム時刻や手で日時を合わせるときに使用。
  - ⑥ALARM2-/+ (アラーム2) —— 使用。
  - ⑦MONITOR (モニター) —— アラーム音の選択と試験するときに押す。
  - ⑧VOLUME (ボリューム) —— アラーム音量を調節するときに使用。
  - ⑨ALARM1 (アラーム1) —— アラーム1のON/OFFスイッチ。
  - ⑩ALARM2 (アラーム2) —— アラーム2のON/OFFスイッチ。
  - ⑪スヌーズ —— アラーム音の一時的停止。ライトボタン兼用。
- 裏カバーを開閉して電池のセット、ボタン操作をしてください。  
**△注意** 必ず電池を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れてください。指示と逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の原因になります。  
 ※液晶の表示は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

## 1 電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

### 【受信の流れと表示】



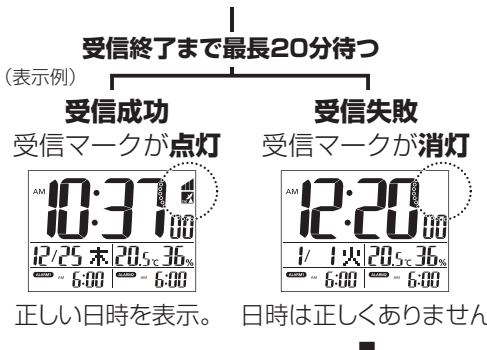
電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2013年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

**受信中の受信マークの変化** (電波サーチ機能)  
電波の状態により変化します。

受信できない → 受信しやすい

① ② ③ ④

**チェック!** 1~2分経過しても①や②の状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を開始させてください。



## 標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

## 標準電波を受信できないときには、手動で日時を合わせてご使用ください。

### 手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻 (時、分) の順に設定してください。

**年、月、日、時刻 (時・分) でのボタン操作**  
数値を+ (進む) または- (戻る) ボタンで合わせてから時刻合わせボタンを押します。

ボタン 押してすぐ離す 押し続ける  
+ 1つ進む 早送り  
- 1つ戻る 早戻し

+、- ボタンは、ALARM1と2の両方を使用することができます。

- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

操作例 2014年12月25日 午前10:37に合わせる

①年 ①西暦年が点滅するまで時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける

②年 ②西暦年を合わせる

③月 ③月を合わせる

④日 ④日を合わせる

⑤時 ⑤時を合わせる  
12時間表示のときはAM (午前)/PM (午後) 表示に注意してください。

⑥分 ⑥分を合わせる  
※時、分のときに+または- ボタンを押すと秒が00になります。

以上で設定は終わりです。

## 2 アラーム機能を使う

**重要** アラームは非常に大きな音で鳴ります。次のことに注意してください。

- 耳の近くで鳴らしたり、大音量で長期間使い続けたりすると難聴などの聴覚障害になるおそれがあります。
- 建物の構造などにより室外に音が漏れることがあります。ご近所迷惑にならないように音量や置く場所などにご注意ください。

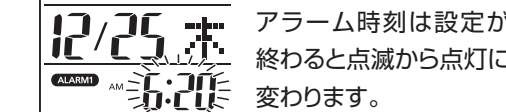
アラーム1と2、2つのアラーム時刻を設定して使用することができます。

- アラームが鳴っているときに、もう一方のアラーム時刻になったときは、後からのアラームがスヌーズとオートストップ機能の対象になります。
  - アラーム1、2のアラーム音の種類と音量は同じ設定になります。
- ※アラーム状態 (アラームが鳴っている、アラームマークが点滅している) のときはアラーム時刻を設定することはできません。アラームスイッチ1と2両方をOFFにしてから設定してください。

■アラーム1と2の設定手順は同じです。下記の説明はアラーム1の例です。設定するときは、アラーム1、2それぞれの+/- ボタン、アラームスイッチを使ってください。

### ① アラーム時刻を合わせる

- ①+または- ボタンを押してすぐ離す  
アラーム時刻が点滅します。
- ②+または- ボタンでアラーム時刻を合わせる  
ボタン 押してすぐ離す 押し続ける  
+ 1分進む 早送り  
- 1分戻る 早戻し
- ③約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる



### ② アラームのON/OFF設定

ONにするとアラームマークが点灯します。

ALARM1 (アラーム1のスイッチ)

ON 鳴らす

OFF 止める、鳴らさない

### アラームご使用上の注意

アラームスイッチをOFFにしないと毎日アラームが鳴ります。使用しないときは必ずOFFにしてください。

### 時刻表示形式の切り替え

12H/24Hボタンを押すと表示形式が変わります。

12時間表示 24時間表示

AM (午前) / PM (午後) (00:00 00 ~ 23:59 00)

電波の受信中、アラームや日時の設定中、アラーム状態のときは表示形式を切り替えることができません。

### 温度・湿度表示について

本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、室内の温度を反映しにくくなります。空気がよく循環する場所に設置してください。

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。

※厳密な温湿度管理や証明、商取引には使えません。

### 電波受信機能のON/OFF操作

**受信機能 OFF (時刻を標準電波で修正しない)**  
リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。OFFになるとリセットボタンまたは強制受信ボタンを押しても受信マークを表示しません。

○日時は手動で合わせてください。

※電池を抜いて回路内に電荷がなくなると受信機能がONになります。

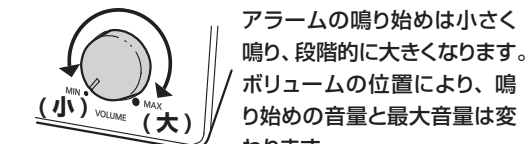
※受信機能がONの場合、手動で日時を合わせても受信に成功すると日時を修正します。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

### ③ アラーム音の選択と音量の調節

**必ず音量を「小」にしてからアラーム音の選択と音量の調節をしてください。**

- アラーム音は3種類収録されています。
- モニターボタンを押している間、鳴り続けますのでボリュームで音量を調節してください。
- モニターボタンを押すたびに音が切り替わり、最後に試験した音がアラーム時刻に鳴ります。



アラームの鳴り始めは小さく鳴り、段階的に大きくなります。ボリュームの位置により、鳴り始めの音量と最大音量は変わります。

最大音量は前面から10cmで約105dBです。  
 120dB 飛行機のエンジンの近く  
 音レベルの目安 110dB 自動車の警笛 (前方2メートル)  
 100dB 電車が通るときガード下

### ◎スヌーズ機能 (止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すと、アラームは止まり、アラームマークは点灯表示になります。

### ◎オートストップ機能 (自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。

### 表示部照明機能

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと表示面が約5秒間照明されます。照明の明るさは、段階的に暗くなり消灯します。

※照明をしたときは、時計上方より見てください。他の方向からは読み取れなくなります。

※明るい所では、照明の効果は確認できません。

### ■測定範囲を超えたときの表示とその意味

- 温度 「HH.H」 50℃より高温
  - 「LLL」 -9.9℃より低温
  - 湿度 「HH」 95%RHより高い
  - 「LL」 20%RHより低い
  - 「--」 測定範囲外\*温度が5~50℃の範囲外
- 「%RH」は相対湿度の単位です。  
 天気予報など一般的には「%」が使われています。